



たかとり幼稚園保育発表会（12月14日）

議会だより

第167号

2013年（平成25年）1月28日発行

大 上巻

第2回臨時会（平成24年11月5日）

● 駅前駐輪場用地の取得を可決…………… 6

12月定例会（平成24年12月3日～18日）

● 新たに「参与」職を設置…………… 2

● 町政のここが聞きたい 一般質問… 8～12

● 陳情審査結果・請願（陳情）の出し方等… 13

● 11月議会報告会開催結果 …… 14～16

● どうなった？給食食材の放射性物質測定器の購入… 17

12月定例会

(12月3日～18日)

- 新しい条例として大磯町に参与を置くことを可決
- 個人町民税はH26年度から10年間
年額500円を増税することなどが決まった

新たに「参与」職を設置 専門的な知識・経験を有する者を任用

町政の重要課題の解決と円滑な行政運営・事業推進を図るため、外部から専門的な知識・経験を有する者を任用する参与制度を創設する新条例が提案された。

参与の定数は3人以内で町長が委嘱。任期は1年を超えない範囲で再任は妨げない。報酬は日額3万円を超えない範囲内で、出張の際は費用弁償として旅費を支給、通勤費の支給も可能。施行日は平成25年4月1日。

主な質疑

問 審議会などに専門的知識・経験を持つ方を選ん

でおり、新たに参与を設置する必要はあるのか。

答 参与は政策をつくっていく側、審議会等の委員は政策を評価する側であり、立場や役割が異なる。

問 副町長がいて参与がいるという組織が一番理想

のであるが。

答 副町長の業務とは別に意思決定をするうえで多くの意見を取り入れたい。副町長は適切な人物がいればいつでも置く用意はある。

問 参与の配置例として、

まちづくり、防災、観光、緊急を要する課題とあるが、定数を3人とした理由・配置先は。

答 他自治体を参考とした。予算を考慮し3人以内とし、重要な施策やプロジェクトのために登用を考えている。町長の相談役として3階に配置したい。

問 組織の中で、参与がど

のように関与し、部長などの意見を取り入れて助言・提案を実現していくのか。

答 参与にアドバイザーとして相談や調査提案の依頼をする。政策策定において、町長ほか担当職員

を交えた会議への参加も想定し、町長と職員が合意のうえで進めていく。

賛成討論

○町の山積している問題解決を図る、町が発展するために参与職を設置することは必要である。

町税条例を改正

東日本大震災からの復興で町民税を増額

東日本大震災の復興に伴う地方税法の改正を受け、次の3点の改正を行うもの。

○個人町民税の均等割の税率の見直し、住民税に

H26年度から10年間、年額500円が加算される、
○下水道除害施設の固定資産税の特例措置の規定の追加

○町税に関する不利益処分等は理由を示すこと

主な質疑

問 町が実施する緊急防災、減災事業1億5千万円の例が出ているが、この件

に関する計画はあるのか。
答 基本的には施設の耐震化等の計画的な事業に取

○参与を設置することにより、さらに町長のリーダーシップと部長以下職員

が意欲を持って行政に関することを期待するとともに、参与を設置して本場に町民がよかったと思える町政にしてほしい。

反対討論

○参与は決裁権を持たない立場とされるが、政策決定に参画することは矛盾が生じ、組織に混乱が生じると危惧する。

賛成多数で可決

り組んでいるが、実施できていない施設等防災に
関し、増税を財源としてスピードアップを図りたい。

問 復興増税、均等割の税率の見直しは、町民にとって負担や税がまた上がるのかという心配もある。また、町民への影響や具体的な例はどうであるか。

答 均等割は所得のない方にはかからない。給与所得97万円までの方である。それ以上の方は町税、県税で年1千円の増である。具体例では防災センターや非常電源設備、橋梁の長寿命化、落橋防止

等である。

問 復興増税の不適切流用を防ぐため基金とするか。

答 一般財源となる。防災事業であり不正流用はない。

反対討論

この町税条例の改定に次の3点をクリアにして上程すべき。

(1) 防災・減災の計画を町民に示すこと。
(2) 余裕のないぎりぎりの方もいる。年金も減り福祉の手当もない。

(3) 流用を絶対しない担保として計画をしっかりと作る必要がある。
町民はいまの段階では納得しないと判断する。

賛成多数で可決

旧吉田茂邸利活用検討委員会 町長の附属機関に位置づけ

旧吉田茂邸の再建に向け、再建後の利活用を調査・審議するため、旧吉田茂邸利活用検討委員会を設置し、町長の附属機関に位置づけるための改正。

主な質疑

問 委員構成は。
答 教育委員会1名、郷土資料館の運営委員1名、博物館に関する専門的知識を有する者1名、公共施設運営事業等の経験者2名、地域振興に携わる者1名、地域住民の代表者1名、公募町民2名、町長が必要と認める者3名の合計12名以内。

問 経理の専門家など費用対効果を考えることができない委員はいるか。
答 経営コンサルタント経験者を委嘱し、文化施設

反対討論

震災復興も進まず、原発の問題も収束していない中で、国の税金3億円を見込み、維持管理費や職員配置がどのくらい必要か、費用対効果もわからない。

問 町民2名の応募方法は。
答 1月号の広報で町民の公募を行う。意識を把握する上で作文を求めている予定もある。

賛成討論

震災復興も進まず、原発の問題も収束していない中で、国の税金3億円を見込み、維持管理費や職員配置がどのくらい必要か、費用対効果もわからない。

賛成多数で可決



再建イメージ図

消防通信指令業務 平塚市・二宮町と協議会設置・共同運用へ

消防指令業務の共同運用（H28年度中に開始）及び消防救急無線デジタル化の共同整備において、「平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会」を設立するにあたり、規約の議決を求めるもの。

主な質疑

問 一元化することで、大磯町にはどのくらい削減効果があるのか。
答 町単独で整備した場合、2億7千400万円かかるが、共同整備における負担割合で支出する金額は、1億3千600万円。約1億3千800万円の減額となる。

補正 予算

総選挙費用・専決処分の承認

衆議院議員総選挙及び国民審査を実施するにあたり、選挙準備を早急に行う必要があったことから、かかる経費1千288万5千円の一一般会計補正予算(第6号)を専決処分することを承認した。

主な質疑

問 178万円で購入する備品があるが、次の選挙でも使用できるのか。リースではないのか。

答 国政選挙で経費が全額国から出る機会を利用し、開票集計システムを導入したい。投票用紙を開披して各候補者や政党別に100票束にしたものにバーコードシールを貼り、得票計算をしていくシステムである。

次年度以降は、候補者のデータ更新等で6万8千円程度かかるが、町の選挙にも使用できる。

全会一致で承認

問 実施した結果、消防職員数の増減はあるのか。
答 増減はない。

全会一致で可決



教育委員に中野氏

中野 泉 氏 (52歳)
任期は2月1日より4年間
台町

主な質疑

問 教育委員会の委員に、保護者の立場で就任される方がいるが、この方は現役の保護者という理解でよろしいか。
答 そのようにご理解ください。

全会一致で可決

1市2町ごみ処理広域化

平塚市との事務委託の協議等3件を可決

平成22年4月に制定した平塚市のごみ焼却施設の整備運営の事務委託に関する規約で、ごみ焼却施設の稼働開始時期を延期する等の変更が生じた。

また、資源物の処理事務、不燃ごみ及び粗大ごみの処理事務について、平塚市に事務委託する協議を行うため、議会の議決を求める3件の提案がされた。

主な質疑

ごみ焼却施設整備運営

問 ごみ焼却施設の稼働開始時期が遅れた理由は。

答 建設予定地からダイオキシンが見つかり、除去処理のため約半年工事の着工が遅れた。

問 平塚市の焼却施設が稼働開始する平成25年10月1日以降は、町環境美化センターにごみの持ち込みはできなくなるのか。

答 臨時ごみの受付はこれまで通り、町環境美化センターで受け付ける。

問 臨時ごみは環境美化センターへ持ち込みができるが、平塚市へ搬出するまでの仮置き場は作るのか。

答 現在の焼却場が稼働を停止するため、当面はその場所を仮置き場とする。

問 1市2町の広域でごみ処理をするのだから、二宮町や平塚市へごみを持ち込めるのか。

答 大磯町民から出されるごみは、町指定のごみ集積場所、または町環境美化センターに出して欲しい。平塚市に支払う負担金の中には、人口割と処理量割があるので、必ず大磯町で処理をして欲しい。

資源物処理

問 委託事務の経費は大磯町の負担となるが、町単独で行った場合と比べ

答 現在、平塚市と協議して来年度予算の詳細な経費を算出中で、現時点ではプラスマイナスは答えられない。運営費の負担は大体年間3千万円程度になると見込んでいる。

問 空き缶類の中で特にアルミ缶などは、町の収入としてかなりあったが、これからは全部平塚市の収入になるのか。

答 これからは、平塚市の資源回収協同組合に買ってもらい、かかった経費から売却益を引いたものが大磯町の負担となる。

問 平塚市と二宮町との関係はどうなるのか。

答 二宮町も同様に、平成27年度からビン・空き缶

類のみを平塚市に事務委託をする予定である。

問 万が一事故があった場合等、大磯町が著しく不利益をこうむる場合は、どう対応するのか。

答 事務連絡会議で調整する。事務連絡会議は副市長、副町長から成るが、副町長が不在の大磯町は、副町長の代わりに政策総務部長が入る。主張すべきは主張し、調整するところは調整し、進める考えである。

不燃ごみ・粗大ごみ処理

問 事務委託の経費は大磯町の負担となるが、負担

金は前年度実績で計上するのか。また、精算と支払いの時期はいつか。

答 ほかの委託事業も同様だが、直近の過去3年間の人口と処理量それぞれの割合で算出し、事務連絡会議で当該年度の大枠を決める。負担金は第4四半期毎に概算で支払い、最終的に翌年度の第2四半期で精算する流れである。

全会一致で可決

国保条例改正 不利益処分理由明示へ

国民健康保険税に関する不利益処分（減免の取り消しや不承認）について、その理由を示す改正。

全会一致で可決

市町村職員退職手当組合 規約の変更

組合の構成団体である足柄消防組合が脱退するための変更。

全会一致で可決

町営住宅

解体した住宅を条例から削除

町営月京住宅が完成し、

24戸に入居が完了した。西小磯住宅、国府新宿第一・第二住宅を用途廃止し、解体したことによる関連条項の改正。

主な質疑

問 用途廃止後の跡地の活用計画は。

答 西小磯は測量作業を行っており、24年度中に売

却したい。国府新宿は一部境界未決定で、25年度に測量を予算化予定。

問 西小磯は、周辺に合ったものを建てるという条件を付けて売却できるか。

答 建築基準法や開発に問題がなければ行政が建築条件を付けるのは難しい。他市町の例を研究する。

全会一致で可決



平塚で建設中の(仮称)次期環境事業センター

24年度12月補正予算

一般会計は中学生の防災学習48万円を
削除する補正予算修正案を可決

一般会計(2議案)	2,294万円増額
特別会計	
国民健康保険事業	11万円減額
後期高齢者医療	9万円増額
介護保険事業	411万円増額
下水道事業	260万円増額
(1万円以下は四捨五入)	

歳入面は防災関連、子宮頸がんワクチン接種、小児医療費助成など県支出金。歳出面では不活化ポリオ、子宮頸がんの予防接種、旧吉田茂邸利活用検討委員会の報酬等。

来年3月に教育委員会生涯学習課が予定していた「中学生の被災地での学習」48万円を削除する修正案が可決された。

主な質疑

中学生の防災学習

問 中学生の防災学習で3月中旬に石巻市に行くというが、非常に寒い中行かせるのは問題ではないか。

答 寒い、あえて、この時期の派遣を計画した。宮城県の平均気温は3度、極端に寒いとは思っていない。

問 何人派遣するのか。また、スケジュールは。教育委員会の考えは。

答 25人を考えている。広報等で募集。15日の金曜日の夜出発し、翌朝6時に現地のバスに乗り換え

る。東松山市、石巻市、女川町を見て、土曜日の午後10時ごろ帰着予定。

問 強行スケジュールではないか。看護師は同行するか。

答 募集時に保護者の承諾を得ていく。看護師の同行は考えている。

東電値上げ

問 公共施設の東電の値上げによる補正の総額は。

職員給与減

問 人事異動で約2千350万円減ったというが、理由はそれだけか。

答 当初予算策定後に4名退職。休職者3名は復帰見込みだったが、まだ休職のため減額し、大きな額となった。

学童保育委託料

問 委託料が増えたというが、どのように変わったか。

答 大磯学童では基本額が278万4千円から7万円、国府では9万円増えた。

たかとり幼稚園修繕

問 たかとり幼稚園への寄附によるすべり台の設置の他に修繕はないか。

答 職員室と保育室、多目的室に囲まれた東側のライトコートの水が9月2日の大雨であふれ、保育室や通路に浸水した。排水管を太くするなど19万円を組んでいる。



たかとり幼稚園ライトコート

質疑終了後、高橋富美子議員ほか9名より、中学生の防災学習事業は見直しが必要であり、予算48万円を削除する修正案が提出された。

修正案に反対

原案と修正案に対し、討論が行われた。

○中学生の防災学習事業にさまざまな意見が出されたが、現場を見ることが一番大切。

生涯学習の形での提案は初めての試み、ぜひ意見を生かし実現を。

補正予算そのものに反対

○旧吉田茂邸利活用検討委員会設置に反対。付随する予算がある。

○防災学習で3・11の状況をj知ることjは大切、時期について異論はないが

修正案に賛成

食事や水も自前という予算立ては疑問。

○防災学習については全議員が認めるところだが、予算立ての後から内容を吟味するような答弁に終始したのは大変残念。何らかの形でまた提案してほしい。

修正案を賛成多数で可決
修正部分を除く原案を賛成多数で可決

法人町民税を還付

町内に事業所を持つ法人が国税局の更正決定を受け国税を支払ったが、法人の申し立てにより減額された。この影響で、H16～21年度に支払われた町税の一部465万5千600円を法人に返すことになった。このうち、還付加算金は46万8千700円。

全会一致で可決

11月
臨時会
(11月5日)

●西自転車駐車場の代替地として駅前の土地の取得を可決した
●第3者判定で耐震不足と判定された大磯小学校
体育館の工事請負契約を締結

駅前用地 4億6千5百万円で取得へ
自転車駐車場整備等に活用

大磯駅前の東自転車駐車場に隣接する用地取得に際し、国庫補助制度を活用できるよう土地開発公社で取得するため、土地開発基金に2億9千500万円を積み立てる。同時に、設計料344万7千円も補正する。

主な質疑

問 現在の西自転車駐車場の施設借上料の契約はどのようなものか。また、23年度の決算の収支は。

答 平成6年4月25日から20年間の賃貸借契約で、一度料金改定をし、現在は年間4千194万1千800円を支払っている。

歳入は使用料金1千848万3千円、歳出は5千238万5千円(施設借上料4千194万2千円・人件費875万円・その他169万3千円)で、差し引き3千390万2千円のマイナスである。

問 土地活用構想は、土地購入の第一目的は、

西駐輪場の契約期限が平成26年4月までであること、東駐輪場の老朽化への対策である。今後は、有効活用に向けて町内部で検討、外部委員・町民の方等で方針を出し、パブリックコメントを行う。

問 東西の駐輪場を1カ所にするこのメリットは。

答 人件費が1カ所にまとまる。新たに建築しても、黒字になる見込み。

問 施設の規模、収容可能台数は。



駅前用地約5,000㎡ 左奥の建物は東駐輪場



答 現在、東667台、西837台がほぼ満車。面積を有効活用できるように可動式の設計にし、1千500台以上で考えている。

問 土地取得代金4億6千500万円の妥当性は。

答 2社に鑑定評価を出し、低い方を町の評価委員会に決定した。鑑定は5億3千700万円だったが、開発に伴う緑地や道路等の町への提供部分を差し引いた結果の価格になった。

問 町の税収が落ち込んでくる中、4億6千500万円はとても大きな金額と考える。町民にとつてどのように意義のあるものか。

答 西駐輪場の契約期限が迫っており、ここで決断したい。駐輪場を建てる部分の土地は、半分が国庫補助を受けられ、残る半分の7割も借入をし、一般財源をあまり使わなくても駐輪場ができる。使用料を取るためにも、野ざらし駐車はできない。

していくのか。

答 検討して方針を出し、自治基本条例の趣旨に従ってパブリックコメントを行い、土地の有効活用をしていきたい。

問 土地の有効活用を考えると、総合的な設計ができていない今の段階で、無理して駐輪場を建築しなければいけないのか。

答 西駐輪場の契約期限が迫っており、ここで決断したい。駐輪場を建てる部分の土地は、半分が国庫補助を受けられ、残る半分の7割も借入をし、一般財源をあまり使わなくても駐輪場ができる。使用料を取るためにも、野ざらし駐車はできない。

賛成討論

この土地が4億6千500万円で購入できることはまたとない機会と考える。財源についても、後で国から交付される臨時財政対策債を起債し、補助金も見込める公社での先行取得のメリットが生かされると判断した。

購入資金の調達方法

土地開発公社が町の土地開発基金から465億円借入れて取得する。

4.65億円の内訳

町の土地開発基金(貯金)

1.7億円
不足分として基金に積み立てる
2.95億円

2.95億円の内訳

財政調整基金(貯金)取崩し
1.85億円
臨時財政対策債(借金)※
1.1億円

※臨時財政対策債のため、国から交付税として戻る。さらに、駐輪場等用地として町が公社から465億円で購入する際、国の補助が見込まれる。

全会一致で可決

大磯小体育館 耐震補強・改修工事へ 7月31日完成予定

大磯小学校耐震補強・改修工事は、鉄骨補強、3階の外壁パネル・建具改修、屋根・床等の改修、1階駐車場西側倉庫の一部を防災用倉庫に改修するもの。

契約先は、茅ヶ崎市の亀井工業㈱、請負金額は6千798万円。落札率は86%であった。

主な質疑

問 工事中の安全確保は。

答 資材を運ぶトラックは児童の登校が終ってから現場に入る。また、グラウンドを通るトラックの搬出経路は、仮囲いなどで児童と動線を完全に区別して、児童の安全を十分確保する。

問 工事中の入学式と卒業式の対応は。

答 仮設の足場の関係上、いずれの式典も体育館での実施は難しい。大磯中学校での開催を検討中。

問 学童保育、放課後子ども教室への影響は。

答 体育館周辺は立入禁止とし、学童は1階の2学年のスペースを利用。放課後子ども教室は、安全性確保と要望等を調整して決めていく。

問 補助金交付の見込みは。

答 国の交付金の対象で、名称は「学校施設環境改善交付金」。補助率は耐震補強の一部に2分の1、改修工事に3分の1。平成24年度当初申請で計上していないので、追加要望を行っている。3月補正になると考える。



工事に入った大磯小体育館

全会一致で可決

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果			
		奥津勝子	二宮加寿子	土橋秀雄	三澤龍夫	片野哲生	竹内恵美子	高橋富美子	鈴木京子	高橋英俊	吉川重雄	関威國	坂田よう子	清水弘子		渡辺順子		
第2回臨時会 (11月5日)	47	工事請負契約の締結について (大磯小学校体育館耐震補強・改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	48	平成24年度一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12月定例会	49	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度大磯町一般会計補正予算(第6号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	50	大磯町参与の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
	51	大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
	52	大磯町町税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
	53	大磯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	54	大磯町営住宅管理条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	55	平塚市と大磯町との間のごみ焼却施設の整備運営に関する事務の事務委託に関する規約の一部変更についての協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	56	資源物の処理に関する事務の委託に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	57	不燃ごみ及び粗大ごみの処理に関する事務の委託に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	58	平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	59	神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	60	平成24年度	議案第60号平成24年度大磯町一般会計補正予算（第7号）に対する修正案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			一般会計補正予算（第7号）－修正案を除く原案－		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61	平成24年度	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
63	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
64	下水道事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
65	教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
66	平成24年度一般会計補正予算（第8号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
意見書案第4号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない場合

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、12月10・11日に9人の議員から20問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

坂田
よう子

公約の根底に流れる覚悟で
「子育て支援」政策の実現を

答 「卓話集会」子育て真っ最中の
保護者から直に話を伺い政策に反映

問 任期は折り返し、公約の根底に流れる覚悟は「町の将来を担う子ども達のためのみまづくり」と捉える。

答 今期、卓話集会のテーマを子育て支援とし、若い世代の保護者との意見交換を積極的に行っている。政策実現に向け、町長が陣頭に立つ姿勢に期待をするが。

町長 卓話集會を開催。子育てで真っ最中の保護者から直に話を伺い、意見や提言を頂いている。今後の子育て政策に反映する。

問 「産科再開」の進捗は。

町長 非常に高い割合で望んでいる調査結果があり、大学に対し意向を伝えている。今後も要望を続けたい。

問 小児医療費助成に厳しい行政評価がなされた。次世代支援の後退に断固としてなつてはならないが。

教育部長 財政負担等により、抜本的見直しとなった。再検証を行っていく。

問 町立幼稚園・保育園の将来構想と待機児童対策の取り組みは。

教育部長 「子ども・子育て関連3法」施行に伴い、認定こども園や幼保一元化も含め、検証をする。

待機児童対策は、サンキッズ大磯の改築により期待できるが、更に検討を行う。

問 幼稚園民営化に伴い要請された「町独自の幼稚園就園奨励費制度」の進捗は。

教育部長 関連3法の中で慎重に対応していきたい。

問 神奈川県は中学校給食の実施率が極めて悪く、数年後に全国最下位になる。実施できない根拠は財政。

必要性の認識は極めて高いが、財政上の見地から難が生じているとの検



たかとり幼稚園での卓話集会

清水 弘子

鴨立庵西側の葬儀場建設の 白紙撤回を

答 買い取りや他業種への転換へ 話し合い続行中

問 平成19年6月、大磯町議会は葬儀場建設計画白紙撤回を決議した。

庁舎横、鴨立庵という歴史的建造物の隣、また交差点に近く、交通安全上からも問題である。

11月17日土曜日、まちづくり審議会小委員会の助言

提案を受けて、住民、事業者の話し合いに出席した。町民の多くが反対意見だ。

町長のその後の事業者との交渉の進捗は。

町長 まちづくり条例に基づき、9月14日、小委員会 で検討された助言提案を近隣住民と事業者双方に提示。町から事業者へ説明会の開催を要請した。11月17日近隣住民説明会が開催された。交渉の進捗は、6月に事業者へ用地を有償にて町へ譲渡していただくことを文書で依頼した。

事業者は「有効な代替地があれば検討する」という

回答だった。その後も町は事業者に会って買い取りや他業種への転換をお話しし、今も続行中。

問 近隣住民から「交通量について調査は」の間に、「調査していない」と事業者は答えたが。

建設経済部長 交通問題は事業者から、交通誘導員を配置する。車は内部にター

ンテーブルを設けると回答。現在、助言提案に基づく双方の話し合いの期間。終了すれば手続上、進めざるを得ない。

双方で歩み寄りを見せるような話し合いが一番よいが。

問 トップの方と話し合いで、何とかよい解決策を。

町長 今後の手続きを軽々しくしないよう、その都度申し上げている。

その他の質問

○容器包装リサイクル法によるプラスチック分別は進んだか。学校でのごみの取り組みは。

○星様グループ国際学園から保証金1億8千万円は支払われたか。サッカー場の工事完了届の検査は終わったか。

○認知症予防はどのように進めているか。

○容器包装リサイクル法によるプラスチック分別は進んだか。学校でのごみの取り組みは。



葬儀場建設予定地

竹内 恵美子

住民サービスは十分か、 職員の健康管理は十分できているか

答 大切な課題。週に1度のノー残業デー、 健康に配慮するよう指導

問 時間外・休日出勤の状況、振替休日の取得率は。

町長 時間外は月平均一人当たり約20時間、休日出勤は年間7日間、振替休日の取得率は7割程度。

問 住民サービスはできているか。職員の健康管理は。

町長 大切な課題。週に1度のノー残業デー。健康に配慮するよう指導している。

問 業務量調査はしたのか。

政策総務部長 総務課で進めている。

問 出先機関には職業管理システムを配置しているか。

政策総務部長 出先機関は調査中。

問 毎週水曜日のノー残業デーの実施率はどうか。

政策総務部長 統計は取っていない。できるだけ水曜日は職場の規則として守るよう指導している。

問 時間外対象の職員は。政策総務部長 260名中179名。最長の時間外勤務時間

数と支給金額は。

政策総務部長 7カ月間の実績で305時間、約50万円。

問 休日出勤の状況は。

政策総務部長 休日出勤は把握していない。

問 どの課が一番多いか。

政策総務部長 スポーツ健康課、学校教育課が多い。

問 職員からの苦情や不満はどのようにお考えか。

政策総務部長 強制的に取るように指導している。

問 湘南地域では職員の再任用をしております、町民サービスの低下を招かず、人件費の高騰も注意をしなければならないか。

政策総務部長 再任用は積極的に行っていく。



職員証で出退勤を管理するシステム

高橋 富美子

大磯中学校でのエレベーター設置の進捗状況はどうか

答 エレベーター設置に向け、中学校の改修にあわせて計画的に整備

問 大磯中学校でのエレベーター設置の進捗状況はどうか。

町長 4月25日に「大磯中学校のエレベーター設置を求める要望書」が関係団体より提出され、教育委員会に検討をお願いしている。

教育長 エレベーターの設置は建築基準など法的な面ですぐに設置することが難しいことが判明した。車椅子昇降機の検討をしたが、要望団体や生徒の保護者との視察や協議の結果、車椅子昇降機は設置せずエレベーターの設置に向け、中学校の改修にあわせて計画的に整備することになった。なお、生徒の対応には肢体不自由学級の新設や支援員の配置など人的支援を行う。

問 エレベーターは中学校への進学に必要なものであったが先送りにされてきた。改修計画を着実に進めるか。
教育部長 26年度に基準に

関する調査、27年度に実施設計、28年度に3号館の大規模改修で実施する。

中学校給食の進め方は

問 中学校給食における教育委員会の基本姿勢とは。

町長 実施に向け教育委員会と検討する。

問 中学校給食に関する懇話会とその会議の内容は。

教育長 中学校給食の必要性や課題を調査し食育の推進を含むあり方を検討するもの。さまざまな方式についての意見交換やアンケート実施の有無などを議論した。

問 今後どのような進め方があるのか。

教育長 懇話会で出された意見をもとに、課題を把握し教育委員会で結論を出していく。



大磯中学校3号館

中学生の防犯灯設置要望は

問 子ども議会での防犯灯の要望をどう受けとめたか。

町長 道路照明や防犯灯、節電対策としてのLED化、地域での取り組みなど建設的な意見をいただいた。防犯灯の電球切れの対応や状況の確認をし、防犯灯に被る樹木の枝下ろし、一門一灯運動の周知やLED化を進める。

二宮 加寿子

誰もが幸せに長生きするために介護のある暮らしをどう支えるか

答 男性がそういうことを意識せずやっつけていける社会を形成する

問 支えあいの福祉社会へ向けて、地域のコミュニティや地域の見守りなどの間接的なアプローチができる環境づくりの必要があるが本町はどうやっているか。

町長 地域社会の中で、人と人、人と地域のかかわりは非常に重要。介護をする側も受ける側も地域とかわからずに生活していくことはできず、民生委員、介護事業所と連絡をとり、介護者が孤立しない環境づくり、介護者を支える事業を積極的に実現したい。

問 大介護時代を生きるため、誰もが幸せに長生きする介護ある暮らしをどう支えるか、男性介護者に対する支援のあり方（ローカル・ガバナンス）は。

町長 男性がそういうことを意識しないでやっつけていけるような社会を形成する。
問 地域包括ケアの推進と『地域包括支援センター』

の強化を望むが。

町民福祉部長 高齢者がふえ、さまざまな心配事を相談できる場所、虐待など地域包括支援センターの役割が重要。24時間体制、生活のサイクルに合わせた支援、協力体制を築く。また、介護に疲れる前にリフレッシュできる場、機会をつくる。

問 男性介護者からの相談内容は。連携と協力体制を具体的に。また、虐待通報ルートは。

町民福祉部長 料理を余りしたことがない。栄養のパランスが偏り体調を崩す、掃除と洗濯、家事全般の要望、不安、排せつ、入浴介助、仕事に出られず、収入減での経済的な悩み等。地域包括支援センターと町の福祉課が月一回の打

ち合わせ、医師会、介護保険事業所、保健福祉事務所で構成する地域ケア会議で困難なケースの対応方法の検討をしている。ランチ機能として毎日相互に連絡をとり合う状況。虐待通報はチームと民生委員で対応。

その他の質問

- 災害時救急医療
- 災害時栄養支援



多数傷病者訓練

士橋 秀雄

観光啓発宣伝事業の行政評価
D(休・廃止) 評価をどう感じたか

答 大変厳しい評価と反省している

問 「新たな観光の核づくり認定事業」への応募目的・内容・効果、検討経過と今後の進め方を説明せよ。

町長 すぐれた自然環境や歴史的・文化的な資源、豊かな農産物・海産物などの地域資源を効果的に活用し、観光を核とした地域の活性化を図り、日本一の保養地再生を目指して応募した。

産業観光課を中心に、素案を作成、政策会議で提案書を提出。1月末の書類審査をパスすると県のアドバイサー委員会の公開プレゼンテーションを行う。

問 湘南国際マラソンの経済効果はあったのか。

建設経済部長 バスが帰着する大磯港に、商工会が中心となり町の地場産品等を販売する「乾杯横丁」が出て盛況だった。また、駅周辺や中丸近辺の飲食店も、ランナーとおぼしき人達が食事する光景が見られ、一

定の経済効果があつた。

問 実施スケジュールに、H25年・26年度「大磯にぎわい交流施設の検討」、27年度「施設の完成」とあるが、どのような計画か。

建設経済部長 県が策定した大磯港活性化整備計画の中で、現在の漁業協同組合建替えに合わせ、飲食店・物販店を加味した新たな交流拠点として27年度着工、29年度の完成を目指す計画。

問 吉田邸を訪れる観光客数、入場料の収入見込みは。

建設経済部長 5万人は最低限目標。仮定の話だが、年間5万人の入場者、500円で、割引等を考慮し、大体1千500万から2千万円程度見込める。

問 維持費を含め年間経費はいくら

と想定されるのか。

建設経済部長 H23年度決算、郷土資料館維持管理部分が一千万、事業費を加えると2千万程度が目安。

問 11月24日にH24年度行政評価が行われ、観光啓発宣伝事業の評価はD(休・廃止)だった。担当はどう感じたか。

建設経済部長 大変厳しい評価と反省している。



乾杯横町 (大磯港)

関 威國

遊休農地を活用して
市民農園を拡充する考えは

答 希望者はほぼ利用できています
新設はニーズを考えて決める

問 市民農園の配置数や利用者の現状は。

町長 7農園27区画を開設して利用者数は25人である。

問 利用者の年齢構成は。

建設経済部長 年齢は何つていないが、高齢者が多数を占めている。

問 現状の問題点は。

町長 野菜栽培に真剣な方は農園管理も良いが、気軽に利用者は手入れが悪く耕作をしない、雑草除去をしない等の問題がある。随時見回り、改善されない場合は取り消しをする。

問 利用者のニーズ把握は。

建設経済部長 応募時の問い合わせや直接電話で要望を聞いて対応している。

問 連作障害の予防のため面積を2倍したり、契約期限を最大5年にできないか。

建設経済部長 そういった意見もあり五反田農園は1区画40㎡設けている。利用期限は3年程度で足りてい

る。抽選に当れば同じ場所

で引続き耕作ができる。

問 遊休農地を活用して、市民農園の拡充の考えは。

町長 順番待ちの方もいるので、新規開設はニーズを考えて決める。遊休農地対策は、新規就農参入者や農地集合希望者へ農地の斡旋を農業委員会と連携して行う。

問 プラごみの分別について

町長 分別方法が変つてからの問題は何か。

町長 ごみ袋の出し方にル

ール違反があつたり、袋の

使い方が解からない、収集日が解かりにくい等があつた。周知期間が短くてごみの分別方法や出し方が徹底できなかった。

問 問題点の解決策は。

町長 広報やチラシで何度も繰返して説明する。

問 馬場地区の集積場にごみの出し方の防水貼り紙が

掲示されていないが。

建設経済部長 過渡期なので要望地区に取付けた。全て移行が完了したら、正規の看板を設置する。



町内の遊休農地面積は12.8ヘクタール



市民農園

三澤
龍夫

来年度の第60回文化祭への考え方は

答 文化祭への支援はやっていく

問 来年度の文化祭は第60回となる。合併60年を記念して、一力所で以前のような熱のある文化祭をという要望があるが、町はどのように考えるのか。

文化祭運営委員の方たちは、ある程度の自己負担も考えておられるが。

町長 毎年、各地区の施設を利用して盛大に開催される文化祭。多くの方が熱心に取り組まれており、私も拝見している。教育委員会と連絡をとりながら、文化祭の支援はやっていく。

問 これから建設される旧吉田茂邸は郷土資料館の分館という位置づけである。これから活用検討委員会ですまざまな考え方が出てくると思うが、文化祭にも大磯町民が利用できる、そのような色合いをつけていく必要があるのではないか。

教育部長 旧吉田茂邸の再建にあたっては、文化の発信地としても期待できる。文化祭が旧吉田茂邸で開催できるようにすれば、文化祭の開催方法や内容等、大きく変化すると思う。教育委員会としても運営委員会の独自の活動ということなどで、大いに期待したいと考えている。

展示は公の機関でやるのは難しい部分がある。文化祭のことで各ギャラリーのご協力を頂くことはこれから調整したい。

その他の質問

○北浜海岸のパーベキユーについて

問 旧吉田茂邸の基本的な構造は大体決まった。その運営については大磯町も発言していくべきだ。維持管理、ランニングコストは町が持つわけだから。

また、大磯の町は随分ギャラリーがふえてきた。例えば、ギャラリーを3日間ほど町が借り切り、絵画や陶芸を展示する場を設ける。そのような考えはどうか。



旧吉田茂邸

教育部長 個人の

鈴木
京子

来年度の予算編成で神奈川県緊急財政対策への対応はどうか

答 当面、影響はないと推測される

問 来年度の予算編成において、神奈川県緊急財政対策への対応はどうか。

町長 H25年度から見直しが実施される補助金のうち、影響があるものは小児医療費助成、重度障害者医療費の補助等だが、当面、現行補助の継続とされ、ほとんど影響はないと推測される。

県有施設の見直しは、大磯城山公園が移譲を含めた検討、おおいそ学園と大磯港は現行運営の継続となっている。しかし、あくまで予算要求の段階での状況。今後、町への影響も考えられるので、最新の情報収集に努めたい。

教育長 教育については、神奈川県教育を考える調査会で、来年8月までに最終まとめを検討中と聞く。教育の充実を図るには教員の配置が大変重要なので、県の役割をしっかりと果たすよう、要望していききたい。

問 県は財政が厳しい、公債費がどんどん増えると言いますが、国の交付税措置を見込まず、臨時財政対策債をそのまま公債費に当て込んでいるのは誤りと思う。町の認識は。

政策総務部長 臨時財政対策債の制度は、通常、借りた分が交付税として戻ってくるということ。しかし、実際は全額は戻ってはない。臨時財政対策債に頼りすぎると、財政が大変になると認識する。

問 町が臨時債を出した分、

本当に国が措置しているのかはわからない。国に物申してほしい。

学童保育の補助など、県が出さなければならぬ部分を町が負担している事実もある。しっかりと町の立場を主張して住民サービスを向上させる協議を進めるか。

政策総務部長 他の組織とも一緒に進めたい。

その他の質問

○西小磯マンション問題ほか



町が指定管理者の大磯港

あなたの要望はこうになりました

詳細はホームページで閲覧できます。

12月定例会で審査した陳情の件数は33件に及んだ。そのうち「大磯談話室はまひるがお」存続についての陳情は25件あり、取り扱いの審査を一括して行った。

採択となった陳情

◆介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情

陳情者は、神奈川県医療労働組合連合会執行委員長、土谷正明氏。

内容は、介護職員の処遇改善の取り組みとして実施されている介護職員処遇改善加算は平成27年3月31日までの経過的な取り扱いとなっており、介護職員の人材確保に向け、加算を継続すること。また、介護職員処遇改善交付金事業の対象を介護職員以外の職種にも拡大するよう、国へ意見書提出を求めるというもの。

意見として、「就職したが定着しないという介護の状況が続くと、介護サービスが成り立っていかなくなる。

今後も加算を続けていくべき「安心して介護を受けられる環境づくりと、志を持って働ける環境づくりが必要である」などがあつた。

12月18日の本会議において、意見書案第4号「介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書」を全会一致で可決し、国へ意見書を提出した。

趣旨採択となった陳情

◆安全・安心の医療・介護の実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情

陳情者は、神奈川県医療労働組合連合会執行委員長、土谷正明氏。

内容は、「医療崩壊」「介護崩壊」をくい止め、安全・安心の医療・介護を

実現するため、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。また、医師・看護師・介護職員などを大幅に増員するよう、国へ意見書提出を求めるというもの。

意見として、「現場での大変さは十分にわかるが、国に具体的に指摘する事項がない」「他の業種との賃金比較などを考慮すると、趣旨採択が妥当と考える」などがあつた。

◆建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める陳情

陳情者は、首都圏建設アスベスト訴訟湘南地域原告団・家族の会長、高橋静男氏。

内容は、我が国におけるアスベスト（石綿）の被害者の多くは建設業従事者であり、現在でも建物の改修、解体に伴うアスベストの飛散により被害が拡大し続け

ている。労災認定には多くの困難が伴い、企業独自の上乘せ保障もない。建設アスベスト被害者と遺族への救済制度創設、被害拡大の根絶、問題の早期解決を求めるよう、国へ意見書提出を求めるというもの。

意見として、「12月5日の裁判での判決が勝訴となり、政権が決まった暁には、国の責任のもとで石綿の救

済法の抜本的改正、救済措置がされることを期待する」などがあつた。

机上配布となった陳情

◆「大磯談話室はまひるがお」存続についての陳情

「お」存続についての陳情（同様の趣旨の陳情25件）
◆県民のいのちと暮らしをまもる県単独制度と県有施設等の継続を求める陳情

◆消費税増税中止を求める国への意見書提出についての陳情
◆国保への国庫負担の拡充を求める国への意見書提出についての陳情
◆社会福祉関係の県単独補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書の提出を求める陳情
◆大磯議会における政治倫理を審査する機関の設置についての陳情

請願(陳情)

出し方と
受理後の公表手続き

出し方

町に対し、皆さんからの要望を反映させる方法として、議会への請願や陳情があります。

書式は下記の書式例のように、請願(陳情)事項を簡潔に、A4縦用紙に横書きで記載してください。FAXで送付されたものは受付られません。

請願(陳情)者が複数のときは、代表者を決めて本文に明記し、署名簿は本文の後ろにつけてください。

請願(陳情)書式例

〇〇〇についての請願(陳情)

1. 請願(陳情)の要旨及び理由
(請願・陳情しようとする内容を簡潔に書く)
2. 請願(陳情)事項
(請願・陳情しようとする項目をわかりやすく書く)

平成〇年〇月〇日
大磯町議会議長
〇〇〇 様

住所 〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇 印
電話 〇〇〇〇〇
紹介議員(自署) 〇〇〇〇 印

公表方法

請願(陳情)書の写し(請願・陳情者の住所・氏名・押印等の入った文書)は、町議会ホームページの「議案等一覧」に掲載のほか、資料として会議録に製本し、図書館や町情報コーナーに配架、一般に公開されます。

また、署名者は、必ず押印のうえ、連絡先を明記してください。なお、請願は紹介議員が必要で

提出後の取り扱いなど不明な点は、提出前に議会事務局へお問い合わせください。

初めての決算後の議会報告会

～多くの質問・意見が寄せられる～

今年度は予算だけでなく、決算後にも議会報告会を行うことが決まり、生涯学習館・月京会館・保健センターの3カ所で行った。各会場には全議員が臨み、町民との建設的な意見交換が行われ充実してきた。参加者をややすことなど反省を今後にかかしていく。

主な質問と回答

中学校給食

問 中学校給食実施の結論は出たのか。

答 平成23年度には動きがなかった。現在、平成24年度においては、中学校給食に関する懇話会を開催し、最終的には教育委員会で結論を出すことになっている。

現時点までには懇話会が2回行われており、学校の先生方、PTA、一般町民等がメンバーとなり、意見交換をしている。福祉文教常任委員会協議会において、経過報告を受けている。

放射性物質の測定

問 給食食材の放射性物質の測定には、正確な測定器を早く購入していただきたいが。

答 その日食べる食材を、即日検査できる測定器を早く購入して欲しいと、議会からも町と教育委員会に要望を出している。

問 放課後子どもプラン
大磯小学校体育館が使用できないことや、少人数学級がふえたことから、子ども達専用の場所が使える程度、ゆつくりできる場所を確保したいが。

答 教育委員会に、居場所づくりができるように申し述べていく。

用地取得の手法

問 大磯駅前用地を大磯町土地開発公社が先行取得することは、町にとって有利なのか。

答 町が買う前に土地開発公社で一時先行取得することにより、後から町が買い戻す時に国の補助金を受けられることができる仕組みがある。実質的に、町の負担が軽くなる。

葬儀場建設

問 住民は、公聴会を開き、審議委員の先生たちに、小委員会を開いていただき、助言提案をいただきたい。その助言提案は、住民説明会で住民と課題を協議する内容だが、説明会は体をなしていない。事業者側に指導書を出さないでほしいが。

答 法的な規制では解決できない。町として、土地の買い取りを希望していることを、業者方に伝えている。相手方は、売らないというところで事態は動かない。また、皆さんが納得できない事実を担当課に伝える。

道路維持管理

問 道路維持管理事業の内容容は。また、月京地区における町道28号線道路整備事業の進捗は。

答 道路維持管理として、町内一円における軽微な道路修繕を行っている。28号線は、地主の協力が得られない所もあり、整備が完了してはいない。月京地区のご指摘の箇所は、町に対して要望として伝えていく。

役場の耐震化

問 役場は建てて何年経っているか。何かあった時のコントロールセンターなので、現状のまま補強したらいいということでは済まないが。

答 昭和46年に建てられたもので、昭和56年の新耐震基準には適応していない。平成13年度に耐震補強を行ったが、強度を高める施策を町に申し入れていく。



11月15日 生涯学習館

アンケート結果

感想	良かった	普通	良くなかった	未回答
	17	15	0	1

来場者数 (アンケート回答者数)	合計	男性	女性	男女 未回答
生涯学習館 (午前10:30~11:30)	42 (33)	29 (23)	13 (9)	— (1)
月京会館 (午後7:00~8:30)	18 (12)	10 (7)	8 (4)	— (1)
保健センター (午後7:00~8:30)	13 (12)	12 (11)	1 (1)	—
保健センター (午後7:00~8:30)	11 (9)	7 (5)	4 (4)	—

※アンケートは8項目について行った

問 ごみ処理広域化に伴いプラスチックごみの分別方法が変わったが、実行された日の実績・実態は調べたか。多数のルール違反ごみがあった。町内会も努力しているところだが、大磯町のほうも、プラスチックごみの分別方法について、周知徹底してほしいが。

答 本当に、混乱があったと思う。苦情や問い合わせが数多くあることは承知している。議会として、総務建設常任委員会で徹底的に調査・検討し、しっかり取り組んでいきたいと考えている。

問 大磯駅に向う図書館前の道（県道大磯停車場線）の歩道は小学校の通路、防災上の避難経路であるので、拡幅してほしいが。

答 町に申し伝える。

問 コミュニティバスは虫窪など路線の少ない場所へ回すべきでは。

答 町へ要望として伝える。

問 永年保存文書はどう保ち、いつまで続けるのか

答 行政文書等をマイクロフィルムで永年保存する。いつ終るかは議会では把握していない。

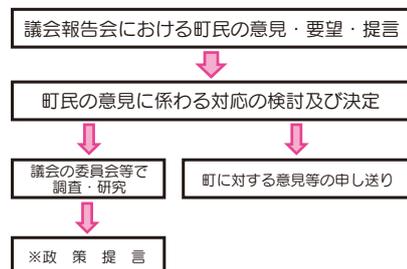
アンケートに寄せられた主な意見・感想 (12名・21件)

- 町民側にも町政について知る努力が必要と思うので、これからも参加する。
- 町民と議会が一致団結し、いい意味で町を刺激したい。
- 議員の顔が見え、町を良くするために、町民とのコミュニケーションがとれて良い報告会だと思う。
- プロジェクターを用いる等、分かりやすい説明方法を工夫すべきでは。
- 参加者が少ない。もう少し町民が参加できるように告知などの工夫を。
- 「その他」の質疑応答時間が短いのではないか。
- 議員はもっと町民目線で活動してほしい。町民の意見を聞く場面をもっと作ってほしい。
- 議員の歳費削減にもっと積極的に取り組んでほしい。
- 資料を読み上げず、要点で説明を。
- 自然エネルギーを推進する町という意見に強く賛同する。吉田邸よりもぜひそちらに予算を。
- 自然エネルギー言めて、節電について進めてほしい。
- 未来の子どもたちを守るため、測定器の購入もぜひ実現してほしい。
- 新築・改修時に家屋の壁の色が環境条例に反すると完成間近にストップをかけられた。申請が出た時点で指摘すべき。町独自で考え直して欲しい。
- 下水工事で私道を町道にするように依頼しても町は動いてくれない。工事の熱意が感じられない。
- 葬儀場を集会場と早くとって欲しい。

町への申し送り項目

- 放課後子どもプラン
- 県道大磯停車場線の拡幅
- 生活交通確保対策事業・コミュニティバスの路線検証
- 葬儀場建設計画
- たかとり幼稚園排水工事
- 県道28号線道路整備事業の進捗
- 役場本庁舎の耐震
- 給食食材の産地
- 公共施設のLED化
- 脱原発法制定の検討
- TPPへの対応
- 公共施設へのソーラーパネル設置

議会報告会の取り組みと町民意見等への対応



11月17日 月京会館

いただいた意見の町の回答は

昨年5月開催時にいただいた意見・要望等に対する町からの回答を一部お知らせします。

意見を生かし、議会でさらに調査・研究を行った「介護ボランティア制度」の先進地視察結果もお読みください。意見と回答の全文は、町議会ホームページで公開しています。なお、資料が必要な方は議会事務局にご連絡ください。

●町道幹線16号線整備計画

意見 拡幅計画は町民の参画と協働がなく、自治基本条例違反ではないか。

回答 町民からの意見を聴いており、自治基本条例違反とは考えない。

●公共施設の省エネ対策

意見 PPS導入効果費用を省エネ対策に使用しては。

回答 PPS導入で約400万円の節約効果を見込んでいる。今後も節電対策、太陽光発電やLED機器への転換等省エネや環境対策を進めていく。

●旧吉田茂邸再建

意見 旧吉田茂邸再建時に集会場や研修施設などをつくってほしいが。

回答 公園管理棟に学習空間ができるよう県と協議を進めている。

●財政計画

意見 将来を見通した財政計画は考えられているのか。

回答 引続き事務事業の見直し、委託の見直し、広域化の検討などに努めていく。

●津波避難路の検証

意見 津波の避難経路の県道(図書館前)は、安全確保のため歩道の拡幅を働きかけてほしい。

回答 バリアフリー道路路構造基準で整備が進むよう早期着手を県に働きかける。

●生活交通確保対策事業の検証(コミュニティバス)

意見 駅前からの利用者が非常に少ないが。

回答 新たな路線バス運行を開始したが、ご意見を踏まえ、より良い公共交通の実現に向けて検討していく。

●葬儀場建設計画

意見 役場横の葬儀場建設計画について、子どもの通学路にもなっており検討してほしい。

回答 まちづくり条例に基づく協議調整手続き中。今後とも周辺環境に配慮した計画となるよう、協議調整していく。

●防災対策

意見 活断層があり県下でも3番目に危険な町とされるが、防災対策費は十分か。

回答 防災行政無線の整備や防災備蓄品の充実を行っている。防災ガイドマップを作成し全世帯に配布し、ハードとソフトの両面から取り組んでいる。

意見 マリア道の整備は国際学園が行うと言っていた。防災対策を優先させるべき。

回答 道路整備は今後も計画的に町が実施していく。防災対策は、補正予算も含めて、順次、実施している。

●国際学園の保証金問題

意見 国際学園の保証金未払いが続くならば、契約更新しないと伝えてはどうか。

回答 国際学園と協議中。

現時点では1年契約の更新をせざるえない状況にある。

●運動公園南側道路の安全対策

意見 運動公園南側にカーブミラーの増設を。

回答 整備事業に伴い交差点改良を予定している。より安全な交差点及び道路となるよう整備していく。

●給食食材放射能測定

意見 給食食材の放射能測定について、大磯町でも独自の給食について対応を。

回答 現状では東海大学に依頼して測定することとした。

●修学旅行先の変更

意見 小学校修学旅行先は、空間線量も高く心配。他の選択肢を持つ必要があるのではないか。

回答 現地調査を行った結果、大気及び旅館での食料等の放射線量には問題がない。現段階では、状況の変化がない限り変更なく実施したい。

●その他の項目 ●役場受付事務の検証

行政視察報告(愛知県高浜市・一宮市)

福祉文教常任委員会

今年度、福祉文教常任委員会は、介護ボランティアにポイント制度を導入できないかを調査研究するため、愛知県の高浜市と一宮市で行政視察を行った。

高浜市

人口約4万6千人の高浜市は、介護保険事業で運営される施設運営とは別に、独自で介護予防施設を運営している。担い手は介護ボランティアの市民、約400人。市では、18年程前から5校の小学校区ごとに地域の課題等を出し合い、行政が財源を渡し市民が福祉などを支えている。

一宮市

市に納められる個人市民税の1%、約18億円を市内でさまざまな活動を展開する団体に配分する「市民活動支援制度」が始まって4年。毎年団体が出す年間計画を市民に公表、18歳以上の市民が投票で選ぶ。大磯町に比べ12倍の財政規模があつての制度。一部参考にした。



介護予防に汗を流す高浜市民

どっぴなっぴ?

給食食材の放射性物質測定器の購入

昨年5月の議会報告会で要望のあった給食食材の放射性物質の測定器購入を受け、福祉文教常任委員会は自由討議を行い、町と教育委員会に購入の検討を申し入れた。

教育委員会は、申し入れ以前に精度が高い測定器を持つ東海大学に測定を依頼している。週一度、各小学校の調理前の食材（根菜類が主）を測定、保護者へ知らせ、HPでも公表している。申し入れを受け、再検討した教育委員会の結論は「他の方法も含め考えていく」であった。

購入が必要と考える福祉文教常任委員会は、12月6日、町と教育委員会に質疑を行った。

今回は主に町の考え方を聞いた。担当は危機管理対策室。町側の見解は「現在までの検査結果から、概ね安全性の確認はできている。教育委員会から申し入れがあれば対応していく」というものだった。

町校に測定器を置き、計測するための人的配置をデメリットとする教育委員会事務局の考え方は問題である。

野菜が主だが、肉類や魚の測定も必要ではないか。東海大学の話で方針を進めるのではなく、もっと幅広く意見を聞き、子ども達の内部被曝を真剣に考えて欲しい。

全食材のうち、何割測定したか把握していないのは問題。

町の給食の基準は50ベクレル。流通している食品は国の安全基準の100ベクレル以下で安全というが、矛盾していないか。

当初予算での予算化の方法を要請しているが、その方針や予算編成権を持つ町側回答がない。

現在、全て安全なものを提供していると考えているとは思えない。

小さいお子さんを持つている保護者に安心していただける方策を考えてほしい。

委員会は引き続き測定器のタイプなどを調べ、町側に提案して行くことを考えている。

主な意見

○ 野菜が主だが、肉類や魚の測定も必要ではないか。

○ 東海大学の話で方針を進めるのではなく、もっと幅広く意見を聞き、子ども達の内部被曝を真剣に考えて欲しい。

○ 全食材のうち、何割測定したか把握していないのは問題。

○ 町の給食の基準は50ベクレル。流通している食品は国の安全基準の100ベクレル以下で安全というが、矛盾していないか。

○ 当初予算での予算化の方法を要請しているが、その方針や予算編成権を持つ町側回答がない。

町民の声

「だより」への「意見」ありがとうございました

第166号には、4名の方からご指摘、ご意見をいただきました。

皆さんの声に応え、わかりやすい編集にとめます。

【ご指摘】

○ 一般質問で問と答の内容がわかりにくかった。

○ 一般質問で問と答の内容がわかりにくかった。また、問が多く町長答弁が少ない記事はいかがなものか。

○ 一般質問は本人の責任で書いた記事を掲載しています。わかりやすい質疑をおこない、記事も工夫するように依頼していきます。

○ 「一般会計決算が不認定」とあるが、議員報酬も入っており、おかしいのではないか。

○ 境界「確定」は「画定」ではないか。

○ 行政や裁判等では「確定」の文字を使用しているため、使っています。

○ 編集後記における放射能の記載は不適切ではないか。個人的なことと思う。

○ 放射能については、温度差があることを委員会

○ たかとり幼稚園の修繕が生じたことが不認定の理由とされるが、設計を認めた議会の責任もあるのではないか。

○ 議会は設計の内容を質問し、予算を認めました。完成後に修繕が必要となった税金の使い方は認められないという意見があり、記載したものです。

○ 放射能測定器購入検討を今号で知った。編集後記に書かれた植物の育ち方について、同じように感じた人がたくさんいる。

○ 自然の変化は人間への警鐘、子どもを守るために議会の対策に期待する。

【ご意見】

○ 決算の反対理由にマリア道があるが、何年かかっているのか。議論が変わっていない。

○ 放射能測定器購入検討を今号で知った。編集後記に書かれた植物の育ち方について、同じように感じた人がたくさんいる。

○ 自然の変化は人間への警鐘、子どもを守るために議会の対策に期待する。

※今後もご意見等をお寄せください。紙面の都合で全て掲載することが難しいこともありますが、編集に反映させていただきます。

来年度からの発行

○ 文字を大きくします。

○ 表紙の写真のテーマ「子どもたち」に代わるテーマを募集します。

7月には議会構成が変わり、編集委員も変わります。表紙の写真のテーマについて等、アイデアをお寄せいただけると幸いです。



毎週1品目ずつ行っている給食食材の放射性物質検査の測定器(東海大学)

議会スナップ



10月23日 福祉文教常任委員会行政視察(一宮市)
市民が選ぶ市民活動支援制度について



1月14日 成人式
議会の役割について語る渡辺議長

議会を身近に

平素より大磯町議会へご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

議会では、「開かれた議会運営」を目指して積極的に議会改革を進めております。

議会の役割は、町民の代表機関として、執行機関の評価と監視を行うことですが、その他に、積極的に町民の皆さまへ情報を発信し、説明責任を果たすことで、協働のまちづくりを実現することだと考えております。

最近では議会報告会や、一般会議(意見交換会)など

議長 渡辺 順子

の機会に皆さまのご意見やご要望、ご提案などをうかがうことができるようになりました。また、議会だよりにご意見をお寄せくださる方が増えてきたように思っています。

皆さまのご要望に充分お応えできない場合もありますが、話し合いの場を持つことでお互いの理解が深まることが大事だと考えております。今後も忌憚ないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

3月定例会

- 2月15日(月) 議案上程等
 - 22日(金) 予算総括質疑
 - 25日(月) 一般質問
 - 26日(火) 一般質問
 - 3月15日(金) 委員長報告等
- ※SCN(ケーブルテレビ)にて放映

予算特別委員会

- 2月27日(水) 全会計説明
 - 3月1日(金) 総務関係
 - 4日(月) 建設関係
 - 6日(水) 文教関係
 - 7日(木) 福祉関係
- ※委員会も傍聴可能です

前号(第166号)のお詫びと訂正

10ページ：坂田よう子議員の一般質問、3問目の間に対する答え
正) 交付金と合わせ約5億4千万円となる。
誤) 交付金と合わせ約4億4千万円となる。

陳情・請願

町政などへ意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書(議員の紹介が必要)を議会に提出することができます。
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
61-4100(内線281)

提出の締め切り
(3月定例会分)
2月4日(月)
午後5時まで

編集後記

新年明けましておめでとうございます。2013年大きな夢や希望で新しい年を迎えられたことと思います。

受験生の皆様、就職活動に励む皆様、寒さに負けず粘り強く挑戦されていらつしやると思っています。素晴らしい年になりますよう、応援しています。

新成人の皆様、大人社会の仲間入りですね。これからの大磯町をお願いします。幸齢者の皆様、笑顔で元気を皆に分けてください。

笑顔で活気あふれる年、皆様にとって良き一年となりますように。

議会だより一同、さらに精進してまいります。

議会だより編集委員

委員長	鈴木京子
副委員長	二宮加寿子
委員	片野哲生
	高橋富美子
	高橋英俊
	関威国
オブザーバー	奥津勝子
副議長	渡辺順子